

千葉県議会議員 「我孫子無所属の会」代表 (我孫子市選出・無所属)

水野ゆうき

ゆう
Can Change!

2016年

県議会・活動報告 vol.19

水野ゆうきは
県政・議会・議員の見える化を
推奨しています。

ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 twitter @yuukitten

2月29日に千葉県議会・一般質問に登壇し、森田健作知事はじめ県執行部と厳しく質疑を行い、県の姿勢をただしました。



千葉県『指定廃棄物の長期管理施設、 県内1か所変わらず』

1. 指定廃棄物の処分場問題について

Q 環境省が、茨城県において指定廃棄物の分散保管を認めたことや、放射性物質の濃度が基準を下回った場合の指定解除の仕組み案を示したことを受け、今後、県はどのように対応していくのか。

→ 県：先般茨城県では指定廃棄物の現地保管が国と基礎自治体間で合意した。国から放射性セシウム濃度が基準以下に低下した場合の指定解除の仕組みを茨城県以外の各都県にも導入する方向であり、千葉県も同様との説明を受けた際に千葉県について指定廃棄物を県内一か所に集約して処理する方針に変更はないと国は明言した。国に対しては（候補地のある千葉市と）正面から向き合っており取り組むよう求めた。

水野ゆうきの指摘! 特に指定廃棄物の長期管理施設の件は、手賀沼終末処理場は今なお 8000 ベクレルを超える下水汚泥焼却灰が 542 トン保管されており、また手賀沼終末処理場自体が洪水ハザードマップで氾濫した際の危険区域となっていることや、国と千葉市（詳細調査候補地）が膠着状態になっていることから、54 市町村をまとめる広域自治体の千葉県は、解決に向けて積極的にこの問題に取り組むべきと指摘しました。

3. DV防止対策について

Q 子育て家庭の中で DV が夫婦間で行われ、子どもが DV を目の当たりにすることは児童虐待にあたりと法律で定められている。子育て家庭における DV 防止に向けて、どのような啓発を行っているのか。

→ 県：DV 被害者には、子どもをもつ年代の女性が多く、子どものことを考え、被害をどこにも相談しないなど、被害が潜在化しやすい状況にある。子どもが DV を目撃すれば児童虐待にあたり、その後の人格形成や成長過程に深刻な影響を与える懸念がある。昨年度から、DV 及び児童虐待に関する知識や相談窓口等の情報を記載したパンフレットを作成し、市町村の協力を得て、就学時健康診断及び1歳6か月児童健康診断の際に保護者に配布している。

Q 2013 年の DV 防止法改正によって保護命令の対象が恋人にまで広がられたが、親と暮らす中高生への法的救済は未整備。今後増加する可能性を秘める若者に対してデートDVの予防啓発をどのように行っているのか。

→ 県：DV の予防教育や若年層への啓発は、将来にわたる DV 防止、ひいては青少年の健全な育成の上で大変重要である。デート DV をテーマに、毎年、県内 40 校程度の高等学校等において、若者のための DV 予防セミナーを実施するとともに、県内すべての高校1年生を対象に「デート DV 相談カード」を配布し、デート DV に関する知識や相談窓口の周知を図っている。

Q 昨今急増している見落としがちな男性に対する DV の相談体制はどうなっているか。

※男性被害は 10.1%で 22 年の 2.4%から 4 倍に増加。
→ 県：DV をはじめとする様々な悩みや問題の相談に応じるため、男女共同参画センターにおいて、男性のための総合相談事業を実施している。

2. 里親制度の推進について

Q 里親登録数や委託児童数など、千葉県の里親制度の現状はどうか。

→ 県：平成 26 年度末の里親登録数は 412 組、そのうち委託里親数は 141 組、委託児童数は 204 人であり、里親等委託率は全国平均の 16.5%に対し、20.1%。平成 41 年度までに里親委託率をおおむね 30%にする計画。

Q 更なる里親制度の推進のため、里親制度の普及啓発や新規里親の開拓にどう取り組んでいくのか。

→ 県：ホームページ等を活用した広報や毎年 10 月の里親月間に県民向けシンポジウムを開催。今後は、里親制度をより身近に感じてもらえるよう、週末里親や季節里親の取組を促進する。また、他の自治体で実施されている市町村単位でのシンポジウムや里親の体験発表会の取組等を参考にしながら千葉県里親会等の関係団体と連携し、効果的な普及啓発の方法について検討していく。

水野ゆうきの要望! 里親登録にかなりの時間を要することから、登録数を増やすためには手続きを見直すべき。研修や実習の機会を増やし、登録までの時間短縮に努めてほしい。

里親制度とは…家庭で生活することができない子どもたちを保護者に代わって一時的に保つておくことは継続的に里親が家庭的な環境で養育する制度で児童福祉法に基づいて行われます。



森田知事

4. 手賀沼の環境保全について

Q 手賀沼の水質改善はどのくらい進んだのか。

→ 県：湖沼水質保全特別措置法に基づき、昭和 61 年度に湖沼水質保全計画を策定して取組を開始。平成12年度からは北千葉導水事業も開始されている。これらの施策により最も汚れていた昭和 54 年度の COD 年平均値 28mg/Lから 7.6mg/Lまで改善した。

Q 手賀沼の水質浄化に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

→ 県：水質は改善してきているが、依然として COD は環境基準を上回っている。現在の湖沼水質保全計画が今年度で終了することから、来年度に新たな計画を策定していくこととしている。引き続き、流域市や関係団体等と連携、協働を図り、手賀沼の水質浄化に取り組んでいく。

水野ゆうきの要望! 手賀沼は住民の憩いの場であり、エコマラソンやトライアスロン等のイベントも盛ん。環境基準の 5mg/L に達するよう来年度からの新しい計画にて、更なる水質浄化に向け努力してほしい。

総合相談では、電話相談を週 2 回、夕方から夜間にかけて行い、さらに希望に応じて面談によるカウンセリングを月 3 回行っている。いずれも男性が相談しやすいよう、男性のカウンセラーが相談に応じている。

水野ゆうきの指摘! 本当の意味での DV に対する認知度を上げるため、積極的に啓発していくべき。

＜DVでお悩みの方はこちらへ＞ 配偶者暴力相談支援センター

●女性サポートセンター：043-206-8002 (365 日 24 時間)

●男女共同参画センター：043-285-0231 (男性) 火曜・水曜 16 時～ 20 時

予算委員会で原発事故に係る損害賠償請求問題の追及へ

2月定例千葉県議会にて予算委員として「自殺対策」「原発事故に係る損害賠償請求」「我孫子市内における国道356号線沿いの歩道の安全対策」について質疑を行いました。

●自殺対策●

本県における平成27年12月末の自殺死亡者数の速報値は1179名。

平成26年の1208名から29名減少。しかし、月別に見ると3月は17名、8月は5名増加しており月によっては増加している現状があります。また男女別では約7割が男性で、特に千葉県においては30代から50代と働く世代の割合が多くなっているという背景からも千葉県としても自殺死亡者の減少に向け、的確に自殺対策事業を積極的に行っていくべきです。自殺に至る原因・動機の実に約50%が健康問題で、次いで、経済・生活問題。全国と比較して千葉県が上回っている原因は経済・生活問題、男女問題と学校問題。こういった背景からも自殺という最悪の行動を起こす前に現状を踏まえ、相談窓口・カウンセリングの一層の充実を図るべきと要望しました。



千葉県では船橋駅前に「立ち寄り処ちば心のキャッチ」(080-2051-0658：船橋FACEビル5階：JR船橋駅・京成船橋駅・東武野田線船橋駅下車徒歩約2分)を開設しており、仕事が終わった後や休日にも、心の悩み、不安などを相談できるようにしています。

水野ゆうきの指摘! 水野ゆうき 市町村の広報に依頼するなどして、いのちを落とす前の予防段階として相談する場所があるということに関して、多種多様な方法で広報・告知もしっかりと行う必要性を指摘しました。

●東京電力福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償請求について●

Q 東京電力福島第一原子力発電所事故に伴って千葉県が講じた放射性物質対策に係った平成26年度分を含めた一般会計の提示合計額は約4億3千万円。

【千葉県が東京電力へ提示した損害賠償額】

- 平成23年度 2億5千532万1千円
- 平成24年度 1億2千244万6千円
- 平成25年度 3千817万3千円
- 平成26年度 1千499万2665円 合計約4億3千万円

東京電力に対する一般会計に係る損害賠償の受入れ状況とその内訳はどうなっているか。

➡県：平成28年2月末現在の受入額は約1億3千万円であり、未賠償額は、差し引き3億円。

【受入額約1億3千万円の内訳】

- 風評被害に係る南房パラダイスの営業損害→約5千9百万円
- 食品衛生法に基づく検査費用→約5千4百万円
- 原発事故業務のため新たに雇用した臨時職員費→約1千万円 等

Q 未賠償の約3億円について、県はどのように対応しているのか。

➡県：未賠償額の約3億円のうち約1億円については平成27年3月に原子力損害賠償紛争解決センターへ和解の仲介申し立てを行い、現在、当該センターからの事業の必要性などの確認事項に対し、対応中。残りの約2億円については弁護士など専門家の意見も聞きながら、東京電力と協議を進めている。

このうち、除染関連費用の約3千万円については協議が整い、年度内に受け入れる予定となっている。

水野ゆうきの要望!

原発事故の影響を受けた基礎自治体においても放射性物質対策が余儀なくされ、千葉県と同様に各自治体も原発事故の損害賠償問題では、東京電力との交渉等で苦戦している。原発を持っていない千葉県及び各市町村が、原発事故によって通常業務以外にこの放射能対策にかなりの時間と労力を費やしていることは明白な事実であり東京電力側が行政側に対する支払い内容の内訳を決定することにも疑問を持っている。千葉県においては申し立てを含め、強い姿勢を示し、ありとあらゆる手段を講じて未賠償額分を取り戻すよう強く要望する。

●国道356号線沿いの我孫子市内における歩行者の安全対策●

我孫子市内における国道356号線はまさに我孫子市民にとって生活主要道路です。しかしながら、高低差があったり、あまりの歩道の狭さにすれ違うことすらも困難な状況となっている箇所もあり、子供たち、高齢者、障がいをお持ちの方、ベビーカーや車いすを使う方にとってはまだまだ危険な箇所が多々存在しております。国道356号の我孫子市内における歩行者の安全対策について県の答弁を求め、県からは通学路など緊急性の高い箇所から随時改善をしていくと同時に、地元地権者との協議をしていく必要性など、全体的に前向きな答弁をもらいました。

既に県と協議を行い、数か所対応しております。引き続き着実に国道356号線沿いの歩道の整備を行っていきます。



例：台田地区

☆我孫子市民・千葉県民の皆さまへ耳より情報☆

☆パスポートの申請・交付が我孫子市でできるようになります!

千葉県が旅券業務を我孫子市に移譲し、10月にけやきプラザの我孫子行政サービスセンター内に旅券事務所が開設されます。

☆防災用の県民パンフレットが配布されます!

12月定例千葉県議会にて水野ゆうきから東京防災のように千葉に特化した防災パンフレットの必要性を質問しました。平成28年度中に千葉県民用の防災パンフレットが新聞折り込みで配布されます!

千葉県議会所属団体
水野ゆうきプロフィール

役職 千葉県議会議員(「我孫子無所属の会」代表、総務防災常任委員会委員)

◎千葉県立我孫子・湖北特別支援学校後援会顧問、手賀沼水環境保全協議会顧問、一般国道356号整備促進期成同盟顧問 等

経歴 1983年2月19日生の33歳。我孫子市生まれ・育ち・在住。

我孫子市立第四小学校入学、米国ロサンゼルス現地校編入、ロサンゼルスインターナショナルスクール編入、帰国後は茨城県県立茗溪学園中学校編入、同校高校卒業、津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。東証一部上場物流社入社(秘書部秘書課秘書グループにて6名の役員秘書担当)。民放テレビ局勤務(報道局経済部所属・BSフジLIVE『PRIME NEWS』担当)。2011年我孫子市議会議員選挙3位当選。市議時代に我孫子市のPR、情報行政、ネット・メディア戦略に注力し、我孫子市の魅力発信に寄与。

『我孫子ゆうき部』(水野ゆうき後援会)部員大募集!

水野ゆうきの政治活動・地域活動を支援して下さる事務員・部員を募集しております。詳しくは水野ゆうきホームページ(<http://www.mizunoyuuki.com/>)、水野ゆうき Facebook までお気軽にご連絡ください。担当スタッフをご連絡させていただきます。